

Rashiku

日本介護福祉士会 ニュース

VOL.183

2025 AUGUST

仕事も、人生も、自分らしく、あなたらしく

特集

今こそ確認したい

「災害への備え」

表紙の写真

募集中!

詳しくは14ページへ

非常事態が発生した際に、
利用者・職員を守るための行動指針のこと

BCPって何ですか?

「Business Continuity Plan」の略で、日本語では「事業継続計画」といいます。これは、自然災害や事故、感染症の流行などの緊急事態が発生した際に、事業を止めずに継続させるための具体的な行動計画のことです。介護の現場では、災害が起きても利用者の安全を守るために、事業を継続することが非常に重要です。

どうして必要なんですか?

最大の目的は、災害や予期せぬトラブルが発生したときに、利用者の命と安全を守ることです。介護施設・事業所のご利用者には、自分ひとりでは自立した生活を送ることが困難な方も多くおられます。そのような方々は、自力での避難や移動が困難であったり、通常の避難所が利用しにくい場合もあります。だからこそ、施設や事業所が事業を継続し、利用者を守るようにしておくことが不可欠なんです。

具体的な内容はどんなものですか?

災害や事故が発生した際の対応手順や体制が具体的に記載されています。避難経路や安全な場所の確認、非常用の物資や医薬品の備蓄、職員間の連絡手段の確保、そして職員が取るべき役割分担なども重要です。また、施設内で感染症が発生した場合に備えた対応策も盛り込まれます。これらの準備を事前に整えておくことで、緊急時の混乱を防ぎ、スムーズな対応が可能になります。

導入するためのステップは?

まずはリスクの特定から始まります。地震や台風など、その地域に多い災害や施設特有のリスクを洗い出し、それぞれに対する対策を考えます。次に、優先順位を決め、対応手順を具体的に計画します。たとえば「電力が止まった場合にどう対応するか」「職員が出動できない場合にどのように利用者対応を継続するか」など、現場に即した対応策を考えていきます。

BCPの計画を実際に使えるようにするにはどうすればいいですか?

策定した計画を活用するためには、日頃から訓練やコミュニケーションを行うことが大切です。避難訓練や応急手当の訓練を定期的に行い、職員が自分の役割を理解し、緊急時にスムーズに対応できるようにしておきましょう。また、職員や利用者、BCPの存在と内容を周知しておくことで、全員が安心して行動できる環境を整えておくことが必要です。

BCPは緊急時に事業を継続し、利用者や職員の安全を守るための計画ということが分かりました。災害が発生してからでは遅いため、日頃からの準備や周知、訓練を欠かさないようにしていこうと思います。

生じた場合に備えた対応策も盛り込まれます。これらの準備を事前に整えておくことで、緊急時の混乱を防ぎ、スムーズな対応が可能になります。

第32回日本介護福祉士会全国大会 第23回日本介護学会

令和7年11/27(木)、28(金) in 三重県営サンアリーナ

三重県
から
vol.4

午前中に訪れた伊勢神宮。空気、音、光、そのすべてがやわらかくて、不思議と心が穏やかになります。忙しい毎日を抜け出してふっと肩の力が抜けるような時間が流れます。そして神宮のそばに広がるおかげ横丁では、古き良き街並みのなかに、かわいい雑貨とスイーツがぎゅっと詰まっています。歩くだけでも心ときめく場所です。そして、伊勢志摩の最大の魅力といえば、海。昼間は太陽の光を浴びてキラキラと輝く海。夜になると、波の音がやさしく響くなか、海に浮かぶお月様を眺める静かなひととき。特に満月の夜には、「月の道」と呼ばれる光の筋が海の上に現れることも。伊勢志摩はそんな“本当の豊かさ”を思い出させてくれる場所です。

